

# 鳥獣侵入防止対策で被害を低減させよう！

令和6年11月

## 1. 餌付け防止

- ・収穫しない作物（庭や野良生えのビワ、カキ等）は伐採、処分する。
- ・腐敗した作物や出荷調整時に出た残渣は埋没するなど適切に処理する。
- ・餌の少ない冬場の餌（イネのヒコバエや雑草等）は耕耘又は刈り取る。

**集落にある餌付けの山**

- 最も餌のない時期に青草を供給 ⇒ **耕耘**
- 晩秋から冬期に餌を供給 1反平均60kg ⇒ **早期耕耘**
- 野生獣を果樹園に誘引 ⇒ **適切に処分**
- 水稲刈り取り後に生えた雑草
- 早期水稲刈り取り後に出た2番穂
- 果樹園に捨てられた病害虫被害果
- 野生獣は牧草が大好き ⇒ **柵で囲う**
- 人の食べ物の味を覚えさせる ⇒ **コンポスト化**
- 野生獣を集落に誘引 ⇒ **伐採又は低木化して守る**
- 侵入防止柵のない牧草地
- 柵の外に捨てられた野菜くず
- 誰も収穫しない家庭果樹

## 2. 緩衝帯の設置

- ・圃場や園地が山際にある場合は、周辺の雑木を刈り払い、見通しの良い緩衝帯（5～10m程度）を設置する。管理道としても活用できる。

柵  
農地

姿が丸見えはいやだな（農地に近づきにくい）

見通しが良すぎて柵に近づけない

※ 何れも被害発生前に対策することで被害が低減します。被害対策の実施に当たっては、市や農業共済組合等で補助が受けられる場合があります。

## 3. 侵入防止柵等の設置・点検

- ・圃場又は集落単位で侵入防止柵、防鳥テグス等を設置する。
- ・侵入防止柵等の設置後は点検、補修を実施する。

縦の線がイノシシ側

支柱に3か所以上固定(たすきがけ)

地中

少し(5cm)だけでも埋設する

3・4本

1・2本

5・6本

6本の針金を斜めに掛けて結束

### 侵入防止柵設置のポイント

- 侵入防止柵はなるべく平地に設置する（傾斜地では効果が低減）。
- ① ワイヤメッシュは縦筋がイノシシ側になるように設置する（横筋をイノシシがくわえて引っ張り、溶接が壊れることがある）。
- ② 支柱を地中に打ち込み、支柱と横筋を針金でたすきがけにして上、中、下の3ヶ所以上を強く固定する。下段は地際から1又は2段目の横筋の高さで固定する。（ワイヤメッシュと支柱を同時進行で立てていくとよい）。
- ③ ワイヤメッシュ下部は足で踏み込むなどして地面に埋めて密着させ、凸凹部や傾斜地など高低差のあるところでも隙間を空けないようにする（イノシシは隙間や地際から侵入しようとするため、5cmでも埋め込むと柵の強度が増す）。

○針金は6本で縛る（イノシシに潜り込まれないよう、防護柵のなるべく低い位置で縛る）

※ 設置後の保守点検（見回り、草刈り、補修、補強）が重要です。

ハッカーを3～4回捻る

完成：ワイヤメッシュの縦筋が外側、横筋が内側

鳥獣被害防止対策技術についてのお問い合わせ・相談は、西讃農業改良普及センターまで